

目

香こー

偈げ

1

三さん

宝ぼー

礼らい

2

三さん

奉ぶ

請じょー

3

懺さん

悔げ

偈げ

4

日にち

中ちゅー

礼らい

讚さん

5

(一尊哀愍)

次

開かい

經きょー

偈げ

7

四し

誓せい

偈げ

7

回え

向こー

10

本ほん

誓せい

偈げ

10

一枚起請文いちまいきしよもん

11

総そー

願がん

偈げ

18

総そー

回え

向こー

偈げ

17

別べつ

回え

向こー

16

念ねん

仏ぶつ

一いち

会え

16

撰しよー

益やく

文もん

16

発ほつ

願がん

文もん

14

般はん

若にや

心しん

經ぎよー

21

送そー

仏ぶつ

偈げ

20

三さん

身じん

礼らい

19

香こー

偈げ

願が我がー身しん淨じょー如にょー香こー炉ろー

願が我がー心しん如にょー智ちー慧えー火かー

念ねん念く焚ぼん燒じょー戒かい定じょー香こー

供く養よー十じつ方ぽー三さん世ぜー仏ぶー

三さん宝ぼ礼らい

一いっ心しん敬きよ礼らい十じっ方ぽ法ほ界かい常じよ住じゆ住ぶ僧ぶ

一いっ心しん敬きよ礼らい十じっ方ぽ法ほ界かい常じよ住じゆ住ほ僧ほ

一いっ心しん敬きよ礼らい十じっ方ぽ法ほ界かい常じよ住じゆ住そ僧そ

三さん奉ぶ請じよー

奉ぶー請じよー弥み陀だ世せ尊そーん入にゆー道どー場じよー

奉ぶー請じよー釈しや迦か如によ来らい入にゆー道どー場じよー

奉ぶー請じよー十じつ方ぽー如によ来らい入にゆー道どー場じよー

懺悔偈

我昔所造諸惡業

皆由無始貪瞋癡

從身語意之所生

一切我今皆懺悔

十

念

日中礼讚（一尊哀愍）

南無至心歸命礼西方阿弥陀仏

弥陀身色如金山 相好光明照十方

唯有念仏蒙光撰 当知本願最為強

六方如来舒舌證 専称名号至西方

到彼華開聞妙法 十地願行自然彰

願共諸衆生

往生安樂国

南無至心歸命礼西方阿弥陀仏

哀愍覆護我

令法種增長

此世及後生

願仏常撰受

願共諸衆生

往生安樂国

開經偈

無上甚深微妙法

百千萬劫難遭遇

我今見聞得受持

願解如來真實義

四誓偈

我建超世願

必至無上道

斯願不滿足

誓不成正覺

我於無量劫

不為大施主

普濟諸貧苦

誓不成正覺

我至成仏道

名聲超十方

究竟靡所聞

誓不成正覺

離欲深正念

淨慧修梵行

志求無上道

為諸天人師

神力演大光

普照無際土

消除三垢冥

広濟衆厄難

開彼智慧眼

滅此昏盲闇

閉塞諸惡道

通達善趣門

功祚成満足こーそーじょーまんぞく

威曜朗十方いーよーろーじつぽー

日月戢重暉にちがつしゅーじゅーきー

天光穩不現てんこーおんぷーげん

為衆開法蔵いーしゅーかいほーぞー

広施功德宝こーせーくーどくほー

常於大衆中じょーおーだいしゅーじゅー

説法獅子吼せつぽーしーしーくー

供養一切仏くーよーいつさいぶつ

具足衆徳本ぐーそくしゅーとくほん

願慧悉成満がんねーしつじょーまん

得為三界雄とくいーさんがいおー

如仏無礙智にょーぶつむーげーちー

通達靡不照つーだつみーふーしよー

願我功慧力がんがーくーえーりき

等此最勝尊とーしーさいしよーそん

斯願若剋果しーがんにやつこつかー

大千応感動だいせんおーかんどー

虚空諸天人

当雨珍妙華

回

向

奉酬大悲願王阿弥陀仏

一切三宝

広大慈恩

本誓偈

弥陀本誓願

極樂之要門

定散等回向

速證無生身

十

念

一枚起請文

唐土我朝にもろもろの智者達の沙汰し申さる

る觀念のねんにもあらず。又學問をして念の

心を悟りて申す念仏にもあらず。唯往生極樂

の為には、南無阿彌陀仏と申してうたがいな

く、往生するぞと思ひ取りて申す外には、別

の子し細さい候そーらわらず。但たゞし三さん心じん四し修しゆと申もす事ことの候そーらは、

皆みな決けつ定じよーして、南な無む阿あ弥み陀だ仏ぶつにて往おーじよー生じよーするぞと、思おも

ううちそーらにこもり候そーらなり。此この外ほかにおく深ふかき事ことを

存ぞんぜんば、二に尊そんのあわれみにはぞんずれ、本ほん願がんにもれ

候そーらべし。念ねん仏ぶつを信しんぜん人ひとはたとい一いち代だいの法ほーを

能よく々く学がくすとも、一いち文もん不ふ知ちの愚ぐ鈍どんの身みになして、

あまにゆーどー
尼入道の無知むちのともがらおなじに同おなじうして、智者ちしやの

ふるまいをせずしてただいっ一向こーに念ねん仏ぶつすべ

し。

しよーのためしよーのためにりよーしゆいんしよーしゆいんをもつてす。
為證しよーのため以兩手印

じよーどーしゆー
浄土宗の安心あんじん起行きぎよーこの一紙しに至極しごくせり。

げんくー
源空げんくーが所存しよぞん此このほかまったに全く別義べつぎをぞんぜず。

滅めつ後ごの邪じや義ぎをふせがんがために所しよ存ぞんを記しるし畢おわんぬ。

建曆二年正月廿三日 大師在御判

発ほつ願がん文もん

願ねがはくは弟子等命終の時にときのぞんで、こころ顛てん

倒どせず、こころ錯乱しやくらんせず、こころ失念しつねんせず。身しん

心じんにもろもろの苦痛くつうなく、身心快樂しんじんけらくにして、禅ぜん

定じよーに入るいがごとく、聖衆現前しよーじゆげんぜんしたまい、仏ほとけの本ほん

願がんに乗じよーじて阿彌陀仏あみだぶつ国こくに上品往生じよーぼんおーじよーせしめた

まえ。かの国くににいたりおわつて六神通ろくじんづーをえて

十方界じっぽーかいに入かえつて苦くの衆生しゆじよーを救撰くしよーせん。虚空法こくうほー

界かいつきんや、我が願わがんも亦またかくの如ごとくならん、

発願ほつがんしおわんぬ。至心ししんに阿彌陀仏あみだぶつに歸命きみよーし奉たてまつる。

撰しよー益やく文もん

光こー明みよー遍へん照じよー

十じつ方ぽー世せ界かい

念ねん仏ぶつ衆しゆ生じよー

撰せつ取しゆ不ふー捨しやー

念ねん仏ぶつ一いち会え

別べつ回え向こー

高こう祖そ光こー明みよー善ぜん導どー大だい師し元がん祖そ円えん光こー明めい照いしよー和わ順じゆん

大師だいし法然ほにねん上人しよーにん上じよー酬しゆー慈恩じおん

(十念)

願ねがわくは(何々家)先祖けんぞ代々だいだい諸精靈しよしよーれい増進ぞーしん菩提ぼだい

又願ねがわくは(何々々々)居士こじ(大姉だいし)追善ついぜん増進ぞーしん菩提ぼだい

(十念)

総回向偈そーえこーげ

願が以此に功德しよくどく平等施びよーどーせー一切いっさい同どー発菩提心ほつぼだいしん

往生安樂国
おーじょーあんらっこく

十
じゅう

念
ねん

総願偈
そー がん げ

衆生無辺誓願度
しゅじょー むへんせいがんどー

煩惱無辺誓願断
ぼんのー むへんせいがんだん

法門無尽誓願知
ほーもん むじんせいがんち

無上菩提誓願證
むじょー ぼだいせいがんしよー

自他法界同利益
じ た ほーかい どーり やく

共生極樂成仏道
ぐしよー ごくらくじょー ぶつどー

三さん身じん礼らい

南な無む西さい方ほう極ごく樂らく世せ界かい本ほん願がん成じょ就じゅ身しん阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む西さい方ほう極ごく樂らく世せ界かい光こう明めい撰せん取しゅ身しん阿あ弥み陀だ仏ぶつ

南な無む西さい方ほう極ごく樂らく世せ界かい来らい迎いん引じょ接じゅ身しん阿あ弥み陀だ仏ぶつ

送そ 仏ぶつ 偈げ

請しよ 仏ぶつ 隨ずい 緣えん 還げん 本ほん 国ごく

普ふ 散さん 香こ 華け 心しん 送そ 仏ぶつ

願がん 仏ぶつ 慈じ 心しん 遥よ 護ご 念ねん

同ど 生しやう 相そ 勸かん 尽じん 須しゆ 来らい

(十念)

摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多

時照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍

利子。色不異空。空不異色。色即是

空。空即是色。受想行識亦復如是。

舎利子。是諸法空想。不生不滅。不

垢不淨。不增不減。是故空中無色。

無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無

色声香味触法。無眼界乃至無意

識界。無無明。亦無無明。乃至無

老死。亦無老死。無苦集滅道。無

智ちー亦やく無むー得とく以いー無むー所しよー得とつ故こー菩ぼー提だい薩さつ埵たー
 依えー般はん若にやー波はー羅らー蜜みつ多たー故こー心しん無むー罣けー礙げー無むー
 罣けー礙げー故こー無むー有うー恐くー怖ふー遠おん離りー一いっ切さい顛てん倒どー
 夢むー想そー究くー竟きよー涅ねー槃はん三さん世ぜー諸しよー仏ぶつ依えー般はん若にやー
 波はー羅らー蜜みつ多たー故こー得とく阿あー耨のく多たー羅らー三さん藐みやく三さん
 菩ぼー提だい故こー知ちー般はん若にやー波はー羅らー蜜みつ多たー是ぜー大だい神じん

呪。是。大。明。呪。是。無。上。呪。是。無。等。等。

呪。能。除。一。切。苦。真。實。不。虛。故。說。般。

若。波。羅。蜜。多。呪。即。說。呪。曰。羯。諦。羯。

諦。波。羅。羯。諦。波。羅。僧。羯。諦。菩。提。薩。

婆。訶。般。若。心。經。